

まほろば



2018.8
第204号

北東北研究発表会を終えて「当院における救急医療の現状について」

7月14日(土)第15回北東北医療研究会において、「当院における救急医療の現状について」をテーマとした口演発表を行いました。

今から3年前に医療安全管理研修会で「医療安全管理の現状」というテーマで職員の皆様にお話ししたところ、まったくのノーリアクションで驚きました。

「刑事事件」とか「警察」とか言い方が少しキツすぎたかな?と反省しました。

しかし、今回はさすがに弘前市立病院と当院との統合が取りざたされていることから、興味津々だったと思います。

ただ、発表時間が短すぎて「結局何を言いたかったの?」と思われた方も多数いらっしゃったと思います。救急診療の現状を事務方から話をするものでは無いことくらいの認識は、私は持っているつもりです。

ですので、まずは診療関係者なら分かりきったことを数的に示し、「次にどうしたら良いのか?」については各医療関係者からお話させていただくつもりであります。

内科的な救急については病状とその背景、外科的な救急についてはやはりその病状と発生原因別に統計を取りましたが、実は皆様が一番良く理解されていると思います。

例えば、当地域での骨折原因のトップは何と言っても「転倒・転落」です。

しかも高齢化社会に伴うもので、救急搬送からの直接入院がダントツトップです。

その中でも一次産業(特に「りんご」)、雪国要因(雪かき、転倒)が大半ですが、近年では施設入所中の方も多く救急搬送されて来ます。

これらについては、本人・ご家族が注意していれば防げたものもあったはずですが。

内科系疾患については先述のとおり、石黒研究部長にバトンタッチする計画で、当初から「2段構成」でのお話しなのです。

また機会がありましたら参加させていただければと思っております。

事務部長：河野 司



HIV研修会



7月20日、国立病院機構仙台医療センターの伊藤俊広先生をお招きして HIV に関する講演会が開催されました。

講演は HIV・AIDS の歴史や疫学、診断から治療にわたり多くの内容をお話ししていただきました。私は医師となってからまだ HIV・AIDS の方の診療に携わったことはありません。まだ、医師として1年と数か月しか経っていませんが、医学生の頃に習って以来、頭から離れていました。私が印象に残っているのは、HIV の感染率は性交渉では 0.03%～0.2% ですが、それよりも針刺しでの感染率が 0.3% と高いということです。私たち医療者は、診療を行う上で、針など鋭利なものを扱う機会が多いので、この機会に再度感染防御への認識を改めたいと思いました。また、HIV・AIDS の診断・治療方法もお話しいただいたので今後、この研修で学んだ事を活かして診療を行っていきたいです。

臨床研修医：和島 将太

看護学校 学校祭

平成 30 年 7 月 20 日（金）、21 日（土）、「百花繚乱～伝えよう看護の魅力～」というテーマを掲げ、弘前病院附属看護学校祭を開催しました。今年は初の試みとしてテレビ電話で模擬店や技術体験の様子を講堂で上映し、来場者にリアルタイムで学校祭の魅力をお届けすることができました。

離れた場所でも笑顔の学生・来場者がつながることができ、学校全体の一体感を感じることができました。他にもイントロクイズやベッドメイキングなどの新しいステージ企画・技術体験を取り入れ、今年の学校祭は大いに盛り上がりました。テーマの通り、たくさんの学生・来場者の笑顔が花咲いた学校祭となりました。

学校祭開催のため学校祭実行委員会を中心に、学生全員が一丸となることで今年の学校祭も大成功で終わることができました。時間に追われながらも 1 つの目標に向かって協力し合い、多くの困難を乗り越えたことでさらに絆が深まった学校祭となりました。

自治会長（2学年）：馬淵 直美



新人看護師フィジカルアセスメント研修 救急蘇生を学び、実践に活かす

この研修は、集合で BLS 研修を実施後、各部署で実践できることを目的として企画しています。夜間に意識喪失した患者を新人看護師が発見、先輩看護師へ応援要請し、医師への報告、BLS の実施・二次救命処置、指示された薬剤投与までを切迫した状況下を想定し、シミュレーションをしました。電話での報告体制と口頭指示の確認、また救急カートを病室へ運び、気管内挿管介助を実施することで、より実践に近い体験ができました。新人看護師は「とても緊張し、先輩看護師からの指示で動

くことが出来た」「緊急時には目の前の患者さんの救命を最優先し、今日の学びを活かしたい」と、正しく迅速な対応と患者・御家族への配慮を忘れず行動できたかを振り返り、確認する機会となりました。

この研修は実際の救急処置の実施者として各科の医師・研修医に参加・協力を頂き実施しています。このことは、新人看護師の教育を病院全体で行うという意識の醸成につながっているものと思います。

教育担当看護師長：白取 彩香

患者の状態を的確に医師へ報告



集合研修（BLS研修）の学びを的確に実施



医師と共に迅速な対応



研修医便り

初期研修1年目の諏訪秀行と申します。実家は青森県南部町で、さくらんぼが有名な旧名川町出身です。今年は天気もよく、そこまで大粒ではないものの、甘さのある美味しいさくらんぼができました。旬の季節は短いですが、まだ経験していない方は是非食べてみてください。ところで、自分はお酒が好きでいろんなカクテルを飲んだり作ったりしているのですが、今年はさくらんぼ酒を作ってみました。梅酒は今まで何回か作ったことがあるのですが、さくらんぼ酒を作るのは初めての経験です。飲みたい気持ちを抑えていい塩梅に味が馴染んでくるのを待っている最中です。研修ですが、4月、5月は循環器、5月、6月は呼吸器を勉強させていただき、病棟では7階の皆様方に大変お世話になりました。至らない点が多々あったと思いますが、日々精進していきたいと思っております。これからもよろしくお願ひします。

臨床研修医：諏訪 秀行



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2018年8月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本 秀樹	横田 貴志	熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹
呼吸器科		中川 英之	山本 勝丸	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		山本 勝丸	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子
		下山 亜矢子	田中 佳人	田中 佳人	—	田中 佳人
		—	石岡 佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木 明彦	相原 智之	相原 智之	松木 明彦	相原 智之
		山口 公平	山口 公平	松木 明彦	山口 公平	山口 公平
		佐藤 年信	千葉 裕樹	佐藤 年信	安田 耕平	佐藤 年信
		石黒 陽	石黒 陽	千葉 裕樹	石黒 陽	石黒 陽
小児科		杉本 和彦	佐藤 工	敦賀 和志	佐藤 工	杉本 和彦
		敦賀 和志	梅津 英典	佐藤 啓	梅津 英典	佐藤 啓
		遅野井 香純	—	—	—	遅野井 香純
外科		柴田 滋	山名 大輔	柴田 滋	山名 大輔	三上 勝也
乳腺外科		小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅
整形外科	午前	佐々木 規博	秋元 博之	秋元 博之	藤田 有紀 受付10時まで	秋元 博之
		飯尾 浩平	飯尾 浩平	佐々木 規博		佐々木 規博
		藤田 有紀	太田 聖也	藤田 有紀		飯尾 浩平
脳神経外科		—	—	木村 正英	—	—
皮膚科	午前	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行
		佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨	成田 拓磨
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		飯野 香理	丹藤 伴江	丹藤 伴江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	飯野 香理
		松村 由紀子	小玉 都萌	松村 由紀子		石原 佳奈
眼科		蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義
耳鼻咽喉科		西澤 尚徳	西澤 尚徳	休診	西澤 尚徳	西澤 尚徳
		三國谷 由貴	山内 一崇	—	—	—
放射線科	診断	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
	治療	—	—	川口 英夫 (午後)	—	川口 英夫 (午後)
女性専用外来		杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	休診	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

短冊に 願いを載せて 笹に吊る

(だいげん君)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>